

令和4年度第2回鎌倉市スマートシティ庁内検討委員会 次第

日時:令和4年(2022年)11月8日(火)10:00~11:30

場所:講堂

<議題>

- 1 デジタル田園都市国家構想推進交付金の活用について(資料1、参考資料1~5)
- 2 スマートシティ推進事業の進捗状況について(資料2~8)
- 3 臨時委員の追加設置について(資料9)
- 4 講話
 - (1) マイナンバーカードの利活用について
 - (2) オンライン共創プラットフォームの利活用について

議題1 デジタル田園都市国家構想推進交付金の活用について

デジタル実装タイプ^o（仮称）TYPE1/2/3の全体像について



目的	デジタルを活用した意欲ある地域による自主的な取組を応援し、「デジタル田園都市国家構想」を推進するため、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた地方公共団体の取組を交付金により支援		
概要	デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上に向けて、以下の事業を行う地方公共団体に対し、その事業の立ち上げに必要な経費を支援 【TYPE1】他の地域等で既に確立されている優良なモデル・サービスを活用して迅速に横展開する取組 【TYPE2】オープンなデータ連携基盤を活用し、複数のサービス実装を伴う、モデルケースとなり得る取組 【TYPE3】（TYPE2の要件を満たす）新規性の高いマイナンバーカードの用途開拓に資する取組		
共通要件	① デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組む ② コンソーシアムを形成する等、地域内外の関係者と連携し、事業を実効的・継続的に推進するための体制を確立		
詳細	<p><TYPE別の内容></p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>マイナンバーカード 高度利用型 【TYPE3】</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="text-align: center;"> <p>カードの 新規用途開拓</p> <p>国費：6億円 補助率：2/3</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>データ連携基盤活用型 【TYPE2】</p> <p>データ連携基盤を活用した、複数のサービス実装を伴う取組</p> <p>国費：2億円 補助率：1/2</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>優良モデル導入支援型 【TYPE1】</p> <p>優良モデル・サービスを活用した実装の取組</p> <p>国費：1億円 補助率：1/2</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>計画策定 支援事業</p> <p>デジタル実装に取り組もうとする地域の計画づくりを支援</p> <p>委託事業</p> </div> </div>	<p><対象事業（一例）></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>【TYPE3】 マイナンバーカードで各種市民サービスを利用（図書館利用や避難所の受付等）</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>【TYPE2】 複数分野データ連携の促進による共助型スマートシティ（会津若松市）</p> </div> </div> <div style="border: 2px dashed red; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【TYPE1】</p> <p>書かない窓口 地域アプリ 医療MaaS ドローン配送 遠隔医療</p> </div>	<p><その他の新規要素></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの利活用促進、スタートアップの活用促進など、国の重要施策を推進する観点からの一定の優遇措置 ・KPI（デジタル実装1,000団体）達成に向けたボトムアップ支援
	※申請上限数：都道府県 9事業 市町村 5事業		

《ポイント》

○マイナンバーカードの取得率が全国平均を上回る自治体は加算対象とし、交付率が高い団体に対し、より多くの加算を検討

○令和3年度補正予算において措置された同交付金を未活用の自治体を優先的に採択する

↓

本市はマイナンバーカードの交付率が全国平均以上、また同交付金を未活用のため、採択に向けて非常に有利な状況

(再掲)令和4年度スマートシティ事業計画

【取組の方向性】

- 令和4年3月に策定した鎌倉市スマートシティ構想に基づき、リーディングプロジェクトを中心に、産官学民によるスマートシティサービスの実証、実装に向けた具体的な仕組みづくりを進める。
- 令和4年度は、本市のスマートシティの重要な要素である「市民起点」を充実・強化するため、より幅広い市民から意見を集め、政策に活かす「合意形成プラットフォーム(仮称)」の構築を進める。
- また市民のWell-Being向上(インパクト)を最終ゴールに位置付け、年間を通して市民対話等を展開するとともに、データ連携基盤の整備と「スマートシティサービス」の実証等を並行して進めていく。

【取組内容】

- 【柱1】 多くの市民が参加できる合意形成プラットフォームの構築
- 【柱2】 データ連携基盤の整備・オープンデータの拡充
- 【柱3】 官民協業のユースケース等の創出とスマートシティサービスの実証
- 【柱4】 戦略的広報と調査・研究の推進

【柱1】多くの市民が参加できる合意形成プラットフォームの構築

【柱2】データ連携基盤の整備・オープンデータの拡充

○多くの市民が参加できる合意形成プラットフォームの構築

従来から行ってきたオンライン・オフラインの市民対話に加え、デジタル技術を活用した新たなプラットフォームを組み合わせ、より幅広い市民の意見を政策に生かす「市民参加型共創プラットフォーム(仮称)」を構築する。

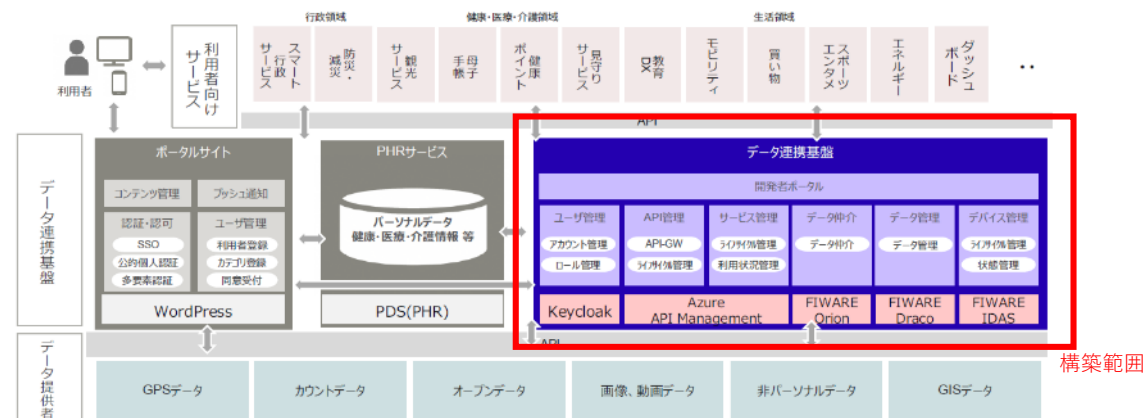
- 令和4年9月1日 委託契約締結 事業者:株式会社Liquitous 製品名:Liquid
- 令和4年9月15日 オンライン共創プラットフォーム利活用部会発足
- 令和4年10月3日～10月28日 庁内での試験運用
 - テーマ:広報に関する施策の検討「伝える」から「伝わる」広報へ 意見総数:74件/38名参加
 - 対象:全職員 意見総数:74件/38名参加
- 令和4年11月初旬～ 西鎌倉地区での試験運用
 - テーマ:発見、ここいいね西鎌倉 / フィールド:西鎌倉地区
- 令和5年1月～ 試験運用を経た全庁展開・地域横展開の検討



○データ連携基盤の整備・オープンデータの拡充

データの仲介機能、認証・認可機能、APIゲートウェイ機能等を備えたデータ連携基盤を整備し、官民共創によるサービスを創出する基盤を構築する。

- 令和4年7月15日 総務省「地域課題解決のためのスマートシティ推進事業」交付決定
- 令和4年9月12日 委託契約締結
 - 事業者:富士通Japan株式会社 製品名:シティプラットフォーム
- 令和4年11月～ テスト環境の構築開始
- 令和5年1月～ 本番運用環境の構築開始
- 令和5年2月～ 官民データ(オープンデータ等)の利活用ワークショップの開催
 - データ連携基盤 運用開始(データの接続、BIツールを用いた可視化等)



○個別検討部会の活動について

個別検討部会の名称	設置目的	取組内容
<p>① 防災・減災分野のデータ利活用部会</p> <p>(構成員) ○共生共創部次長兼政策創造課担当課長 ○まちづくり計画部次長兼都市計画課長</p>	<p>○防災・減災分野の具体的なモデル事業の選定及び実施、リーディングプロジェクトの組成</p>	<p>《モデル事業》 ○モデル事業の選定・実施に向け、事業者からの提案内容をもとに、事業課の課題感・ニーズとの整合、具体的なフィールド(対象地域)の有無を確認。現在、防災・減災分野での実証事業の実施に向け、継続協議中。</p> <p>《若手職員による課題検討WGの実施》 ○目的 実務担当職員が抱える課題を抽出し、深掘、整理を行うことで、業務の生産性向上や市民の利便性向上のための課題解決つなげるユースケース等の検討・創出につなげていくもの。 ○出席者 都市計画課交通政策担当3名、総合防災課2名、政策創造課2名 ○開催日程・議題 第1回 9月9日(金)…職員の負担となっている業務のリストアップ、整理 第2回 9月21日(水)…現状と理想の状態との乖離を解決するための仮説の検討 第3回 10月13日(木)…今後の方向性の検討・まとめ ○アウトプット ◆人材(業務遂行上の専門知識)、ツール・インフラ(BIツール、プロジェクトマネジメントツール)、ルール(ファイル交換)、情報(HP整理)に関して、課題解決の方向性を検討。 ◆今後、業務の生産性向上の観点から、行政マネジメント課・デジタル戦略課と改善に向けた検討を進める。</p>
<p>② 交通・混雑分野のデータ利活用部会</p> <p>(構成員) ○共生共創部次長兼政策創造課担当課長 ○まちづくり計画部次長兼都市計画課長</p>	<p>○交通・混雑分野の具体的なモデル事業の選定及び実施、リーディングプロジェクトの組成</p>	<p>○9月～10月 庁内での試験運用や西鎌倉地区での試験運用に関して情報共有を実施。 ○今後、事業の進捗に合わせて随時開催予定。</p>
<p>③ オンライン共創プラットフォーム利活用部会</p> <p>(構成員) ○共生共創部次長兼政策創造課担当課長/デジタル戦略課長/広報課長/地域共生課長 ○市民防災部次長兼地域のつながり課長 ○健康福祉部高齢者いきいき課長 ○まちづくり計画部次長兼都市計画課長</p>	<p>○庁内関連課の情報共有・連携による円滑かつ効果的なプラットフォームの運用</p>	

○スマートシティ官民研究会の活動について

【目的・活動内容・会員参画状況】

- 企業、団体、アカデミアをはじめ多様な主体の積極的な参画と連携促進のため
 - *本市におけるスマートシティに関する取組事例の情報発信等に関する活動
 - *会員による地域課題の解決策等の提案及び実施に対する支援に関する活動
 - *会員間の情報共有及び連携促進に関する活動

- 一般会員 160団体(令和4年11月2日現在)
- パートナー会員 6団体

【パートナー会員】

一般会員のうち、本市スマートシティの推進に対して「分野間連携の促進やデータ利活用の推進」などに積極的なご協力をいただける法人等。

≪提案の例≫

- 自社の製品、サービス、ソリューションの無償提供
- 自社の保有するチャンネルやデータの提供
- 鎌倉市をフィールドとした具体的な実証事業等の提案、共催事業の開催等の申し出

≪選定済団体≫

- ①江ノ島電鉄株式会社、②株式会社カヤック、③医療法人徳洲会湘南鎌倉総合病院
- ④湘南モノレール株式会社、⑤一般社団法人スマートシティ・インスティテュート
- ⑥慶應義塾大学SFC研究所

≪パートナー会≫

- 9月15日にパートナー会員同士の横連携の促進とデータの利活用によるユースケース創出に向けた検討のための会議を開催。
- その後、個別ヒアリングを実施し、具体的なユースケースの作り込みを検討・協議中。

≪選定予定団体≫

- 一般社団法人Code for Japan…ユースケースづくりに向けた知見の提供
- インテル株式会社…市民参画促進に向けたアセット(PC)の提供

【全体会】

≪第1回≫

日時 | 令和4年7月20日(水曜日)9時00分～12時30分
開催形式 | オンサイト(鎌倉芸術館)及びオンライン会議(ZOOM)
議事内容

- パートナー会員の選定・パートナー会員からのプレゼンテーション
- 令和4年度鎌倉市事業計画について
- 事業化分科会等の活用について

≪第2回≫

日時 | 令和4年11月28日(月)10:00～12:00(予定)/@商工会議所地下ホール
議事内容

- 令和4年度鎌倉市スマートシティ事業の進捗状況について
- パートナー会員の追加選定・パートナー会員からのプレゼンテーション
- データ連携基盤を活用したユースケースの創出について(トークセッション)

【会員間マッチング】

新たなサービス創出に向けてパートナー会員と一般会員のマッチングを実施。

- 湘南モノレール×東急不動産
- 湘南鎌倉総合病院×Y4.com
- 江ノ島電鉄×NTTデータ
- カヤック×住友生命

【モデル事業】

一般会員からの実証等の提案のうち、市の課題感や事業課ニーズとの適合性やフィールドの調整の見通しが立った案件から順次実施予定。以下は現在検討中の案件。

- 現場状況の情報共有・組織間連携PF
- 避難所人流可視化ソリューション
- 買い物代行サービス
- 屋内位置情報サービス

○スマートシティ官民研究会 パートナー会員

	事業者名	鎌倉市のスマートシティの推進に向けて協力・提案する内容
1	江ノ島電鉄株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域課題の解決に向けて、会員企業と連携しサービスやソリューションの企画、検討を行う。 ● 市民起点のアイデア、実証実験に対して、当社事業である鉄道、路線バス、不動産の各種事業資産やフィールドを提供するとともに、持続可能な共創に向けた各種支援を実施したい。 ● ビジネス・アクセラレーター・かながわ(BAK)と連携したオープンイノベーションのコミュニティ形成の推進。
2	株式会社カヤック	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域課題の解決に向けて、会員企業と連携しサービスやソリューションの企画、検討を行う。 ● コミュニティ通貨プラットフォーム「まちのコイン」を、次世代コミュニティの形成のための横串的なインフラとして提供。
3	医療法人徳洲会湘南鎌倉総合病院	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域課題の解決に向けて、会員企業と連携しサービスやソリューションの企画、検討を行う。 ● 医療機関への通院困難者(独居高齢者、治療都合者)へのスマートアクセスの構築を行う。 ● TXP Medical株式会社や鎌倉市医師会、鎌倉市消防本部との連携による次世代救急医療体制の構築に向けた実証事業で培った経験、ノウハウの提供のほか、蓄積したオープンデータの提供に向けた検討を進める。
4	湘南モノレール株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域課題&モノレールの課題の解決に向けて、当社保有のアセットやフィールドを可能な範囲で適宜活用するとともに、会員企業と連携しサービスやソリューションの企画、検討を行う。 ● 湘南モノレール及びみちのりグループでの交通オペレーターの知見とノウハウ、これまで国土交通省、鎌倉市などと取組んできた人流可視化事業、グループで取組んだDX実証実験等で培った経験を活かした提案を行う。
5	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート	<ul style="list-style-type: none"> ● 鎌倉市のスマートシティの取り組みのなかで、地域のWell-Beingを計測する指標(現状把握・目標設定・進捗管理等)として、Liveable Well-Being City 指標(LWCI)を活用することについて、鎌倉市をはじめ、市民や官民研究会参画企業等との共創の取組を進めること。
6	慶應義塾大学SFC研究所	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和2年(2020年)11月24日に鎌倉市と締結した「創造みらい都市の実現に関する包括連携協定書」に基づき、スマートシティをはじめとした次世代のまちづくりや、それに必要な人材育成、湘南地域への波及に向けた、本研究所の有する最先端のテクノロジーや知見の提供協力。 ● 共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)「デジタル駆動超資源循環参加型社会共創拠点」の取組における知見の提供や、フィールドにおける地域や市民との連携および啓発活動を通じ、データやテクノロジーを活用した、市民の地域課題解決力の向上支援への協力。

※企業(あいうえお順)、団体、大学の順で掲載

○鎌倉市公式note(スマートシティプロジェクト)

No	テーマ	概要
vol.1 (4/22)	スマートシティ？それなあと？～テクノロジーが支える鎌倉の安全・安心～	<ul style="list-style-type: none"> ○要するに「スマートシティ」って何？ ○「スマートシティ」って私たちの生活にどう関わるの？ ○「鎌倉市スマートシティ構想」を策定しました！
Topic (4/28)	南雲岳彦さんが参与に就任「スマートシティは市民の暮らしやすいまちづくり」	<ul style="list-style-type: none"> ○南雲岳彦さんがスマートシティ推進参与に就任しました ○スマートシティの最終ゴールは市民の皆さんのWell-Beingの向上 ○これから南雲さんと一緒に
vol.2 (5/26)	前編【スマートシティ！鎌倉は？】2年間市民と共に考えて創ったスマートシティ構想！今後の取組とは？	<ul style="list-style-type: none"> ○市民と共に理想のまちについて考えた2年間 ○市民と共に考え、創った、鎌倉のスマートシティの取組方針 ○構想を基にこれからどんな取組を進めるの？
vol.3 (5/26)	後編【スマートシティ！鎌倉は？】市民が抱える課題を見える化！みんなで解決していく仕組みを4年間でインストール！	<ul style="list-style-type: none"> ○今は鎌倉のスマートシティのインストール期(導入期)！ ○産官学民連携のプラットフォームとは？ ○例えばどんなものがあるの？産官学民連携のプラットフォーム！ ○鎌倉のスマートシティの現在地
vol.4 (6/24)	市民対話に参加された方に聞いてみました！「スマートシティってどう思う？」	<ul style="list-style-type: none"> ○市民対話に参加されたきっかけは？ ○市民対話に参加してみたけど、最初はよく分からなかった！ ○スマートシティのイメージが変わった！
vol.5 (7/13)	江ノ電開業120周年、移動の価値を再定義する！～スマートシティの思考で地域課題と向き合う～	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍が地域課題と向き合うきっかけに ○江ノ電でも始まっているスマートシティ！！ ○スマートシティの発想で新たな交通サービスを！
vol.6 (8/19)	スマートシティ、動いています！～三方よしで守る市民の安全安心～	<ul style="list-style-type: none"> ○1秒1分を絞り出せ、超高齢社会への消防のチャレンジ ○次世代救急医療システム、搬送先決定まで約1分削減 ○デジタルが進める救急現場の三方よし



スマートシティ？それなあと？～テクノロジーが支える鎌倉の安全・安心～

♡ 66

ナル市庁舎2階 | 鎌倉市公式
2022年4月19日 09:05

こんにちは、鎌倉市政策創造課のスマートシティ担当の松村です。
鎌倉市公式noteでの初めての投稿となります。



政策創造課 スマートシティ担当 松村職員

みなさん「スマートシティ」って知っていますか？
きっと「なんとなく聞いたことはある」、「初めて聞いた」という人がほとんどだと思います。実は私もスマートシティ担当に配属されるまでは、スマートシティについて知りませんでした。

令和4年度中に合計12本の記事を投稿予定

○FabCityの推進

庁内展示



約2000人の
市民・職員の方々に
見ていただきました



期間	令和4年9月28日(水)～令和4年10月7日(金)
内容	「Fabって何だろう？」をテーマに、まずは市民の方々に広く「Fab」を知ってもらうことを目的とした展示。実際に「Fab」(3Dプリンタ等)を使って作られたグッズの展示や3Dプリンタが実際に動く様子を公開するデモも行った。
市民の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域での多世代交流イベントなどで活用したい。 ・ 障害を持つ方々がアイデアを形にして、販売するなどできれば、いきがいの創出にも繋がりそう。

➡ 市民の方々だけでなく、職員の皆さんにも見ていただけたことで、広く「Fab」の可能性を知ってもらうことができた。

ワークショップ



日時	令和4年10月22日(土)午前/午後(全2回)
タイトル	FAB CITY WORKSHOP～3Dプリンタで何が出来る？～
参加者	約40名(8歳から80代の方まで幅広い年代の方々が参加)
内容	<p>3Dプリンタなどの「Fab」を「知る・体験する・考える」の3部構成で実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①3Dプリンタをはじめとした「Fab」について知る。 ②実際に3Dモデリングを体験し、オリジナルキーホルダーを作成。 ③「Fab×日常生活」の可能性についてのワークショップを実施。

➡ 3Dプリンタを”楽しく”使ってもらえたこと、「Fab」の可能性を多世代の視点から考えられたことで市内に「Fab」が広がっていくための足がかりとなった。

- 鎌倉市スマートシティ庁内検討委員会設置要綱第3条第2項の規定に基づき、既に臨時委員となっているスマートシティ推進参与(非常勤特別職職員)2名に加え、新たに1名の参与(日下 光氏)を臨時委員に追加で指名し、庁内検討委員会の構成員として今後会議への出席と助言を求めるもの。

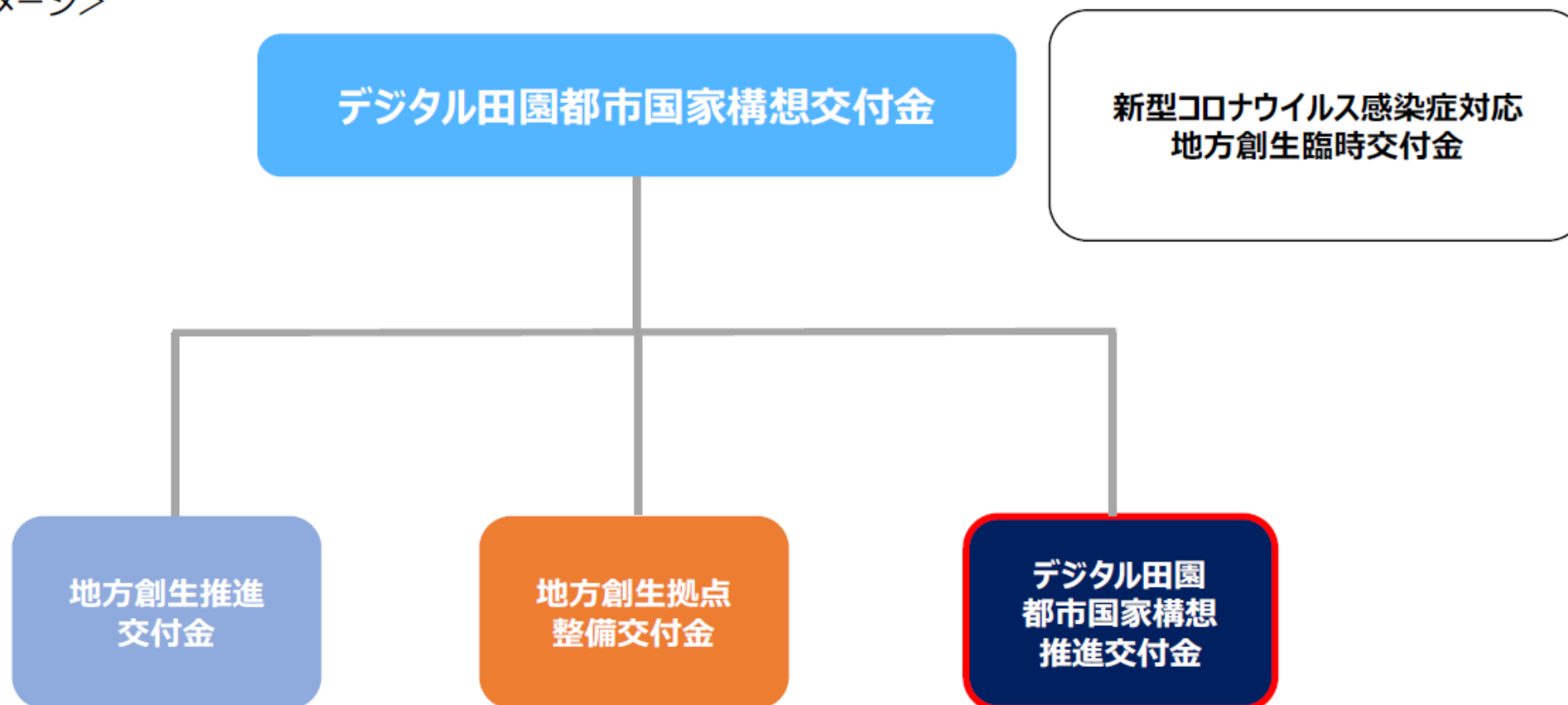
○スマートシティ推進参与 ※スマートシティ推進参与設置要綱に基づく非常勤特別職職員

担当分野	所属・氏名・役割
<p>1</p> <p>ストラテジー (戦略)</p>	 <p>南雲 岳彦氏 / (一社)スマートシティ・インスティテュート専務理事 ストラテジー(戦略)の観点から、国内外のスマートシティに関する幅広い知識と人脈を活かし、市民との合意形成手法をはじめスマートシティの設計に対して助言をいただくとともに、スマートシティの最終ゴールである「住みやすさと幸福感の数値化・指標化(LWCI)」の共同研究を行う</p>
<p>2</p> <p>コミュニケーション (広報)</p>	 <p>加治 慶光氏 / グロービス経営大学院教授、株式会社シナモン取締役会長 コミュニケーション(広報)の観点から、中央省庁、企業、著名人等への幅広い人脈を活かし、戦略的広報・プロモーション・市民合意形成の促進・展開に対して助言をいただく</p>
<p>3</p> <p>テクノロジー (技術)</p>	 <p>日下 光氏 / 総務省地域情報化アドバイザー、xID株式会社代表取締役CEO データの利活用、分野間連携の観点から、地域政策と企業提案(テクノロジー)のマッチングのほか、マイナンバーカード等を利活用したサービス間連携等の促進に関する助言及び提案を行っていただく</p>

- ・「デジタル田園都市国家構想」の実現による地方の社会課題解決や魅力向上の取組を深化・加速化する観点から、従来の3交付金を「デジタル田園都市国家構想交付金」として位置付け、構想実現に向けて分野横断的に支援
- ・令和5年度概算要求においては、計1,200億円(+事項要求※)を要求

※デジタル田園都市国家構想の実現を加速化するための経費

<イメージ>



・デジタル実装を支援する「デジタル実装タイプ(仮称)」、中長期的な計画に基づき先導的な取組や施設整備等を支援する「地方創生推進タイプ(仮称)」、「地方創生拠点整備タイプ(仮称)」を設け、それぞれの特性を生かしながらデジタル田園都市国家構想を推進

デジタル実装タイプ[○] (仮称)

デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けて、以下の取組を行う地方公共団体に対し、その事業の立ち上げに必要なハード/ソフト経費を支援

- 他の地域で既に確立されている優良モデルを活用した実装の取組（優良モデル導入支援型（TYPE1））
- デジタル原則とアーキテクチャを遵守し、オープンなデータ連携基盤を活用する、モデルケースとなり得る取組（データ連携基盤活用型（TYPE2））
- 新規性の高いマイナンバーカードの用途開拓に資する取組（マイナンバーカード高度利用型（TYPE3））
- 「転職なき移住」を実現するとともに、地方への新たなひとの流れを創出する取組（地方創生テレワーク型）

地方創生推進タイプ[○] (仮称) 地方創生拠点整備タイプ[○] (仮称)

地域再生法に基づき、地方公共団体が策定した地方版総合戦略に位置付けられ、地域再生計画に記載された先導的な取組や施設整備等を安定的かつ継続的に支援

- 自立性、官民協働、地域間連携、政策間連携、デジタル社会の形成への寄与等の要素を有する先導的な取組や施設整備等（最長5年間）
- 東京圏からのUIターン促進及び地方の担い手不足対策
- 省庁の所管を超える2種類以上の施設（道・汚水処理施設・港）の一体的な整備

（参考）「デジタル田園都市国家構想基本方針」（令和4年6月7日閣議決定）
地方公共団体が、都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略及び市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき行う先導的な事業を安定的かつ継続的に支援するとともに、その使途の拡大に係る検討や運用の更なる改善等を通じて、一層の活用促進を図る。

（注）本交付金の一部は、地方大学・産業創生法に基づく交付金として執行。

R3補正では、全国において、様々な分野・領域でデジタルサービスを実装する事業を採択しました。各地域の特性や社会課題に応じて、地域で必要とされるサービスの実装を支援

事業分野	実装サービス
行政サービス	窓口入力支援システム
行政サービス	AI-OCR処理
行政サービス	事前オンライン登録・QR発行
行政サービス	オンライン申請
行政サービス	リモートでの窓口対応（例：チャットボット導入等）
行政サービス	コンビニ交付
行政サービス	キャッシュレス導入
住民サービス	電子回覧板
住民サービス	住民向けポータル
住民サービス	住民向けWEBマッチング （例：ボランティア・フードロス等）
住民サービス	公共施設利便性向上 （例：予約システム・スマートロックの導入等）
住民サービス	GIS活用によるインフラ情報のデジタル化 ／オープンデータ化

事業分野	実装サービス
教育	個別最適化学習（例：AIドリル等）
教育	オンライン学習環境整備 （例：タブレット導入、デジタル教材の整備等）
教育	遠隔合同授業の環境整備
教育	通信環境の強化
教育	校務支援システム導入
文化・スポーツ	デジタルミュージアム
文化・スポーツ	デジタルライブラリー
文化・スポーツ	eスポーツの推進
文化・スポーツ	アスリート育成プログラム
子育て	保育所等の入所にあたるAI選考
子育て	保育所等業務のデジタル化
子育て	母子健康手帳アプリ

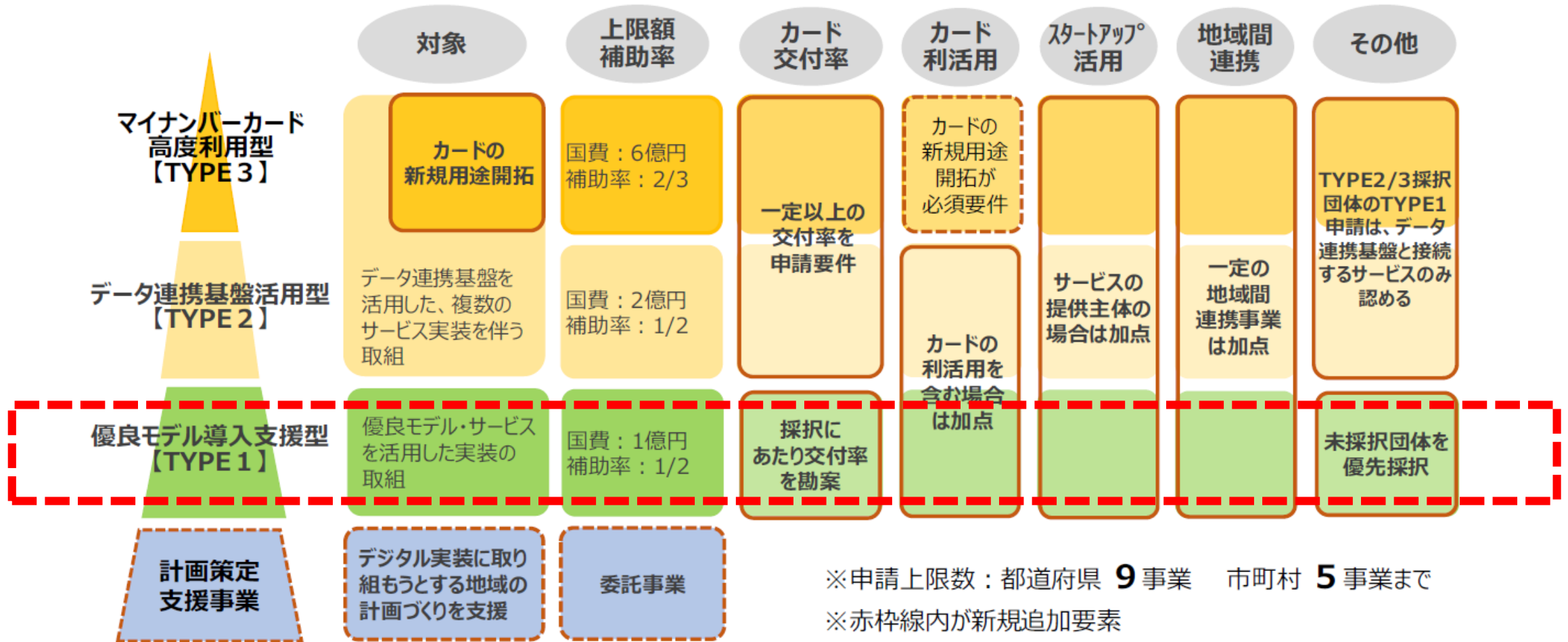
R3補正では、全国において、様々な分野・領域でデジタルサービスを実装する事業を採択しました。各地域の特性や社会課題に応じて、地域で必要とされるサービスの実装を支援

事業分野	実装サービス
医療・福祉	高齢者の見守り
医療・福祉	移動診察車
医療・福祉	オンライン診療・服薬指導
医療・福祉	健康管理アプリ
医療・福祉	健康ポイント
産業振興	中小企業へのデジタルツール導入、DX支援
産業振興	地域通貨・ポイント
観光	VRコンテンツの制作
観光	メタバース活用
観光	デジタルサイネージの設置
観光	観光周遊アプリ
観光	観光MaaS
観光	観光データ（位置情報・人流）の分析

事業分野	実装サービス
交通・物流	オンデマンド交通システム
交通・物流	バスロケーションシステム
交通・物流	住民向けMaaS
交通・物流	通学時の児童見守り
交通・物流	運転免許認知機能検査のデジタル化
交通・物流	ドローン／ロボットによる物流配送
インフラメンテナンス	道路修理・補修伝達システム
インフラメンテナンス	センサー／カメラ／ドローンの活用によるインフラ整備・監視
防災・防犯	GISを活用したハザードマップのデジタル化／オープン化
防災・防犯	センサー／カメラ／ドローンの活用による自然災害の遠隔調査
防災・防犯	スマート除雪
農林水産	スマート農業（例：農業IoTセンサー、ロボットトラクター、アシストスーツ等）
農林水産	鳥獣害対策
農林水産	スマート林業（例：森林クラウドシステム等）

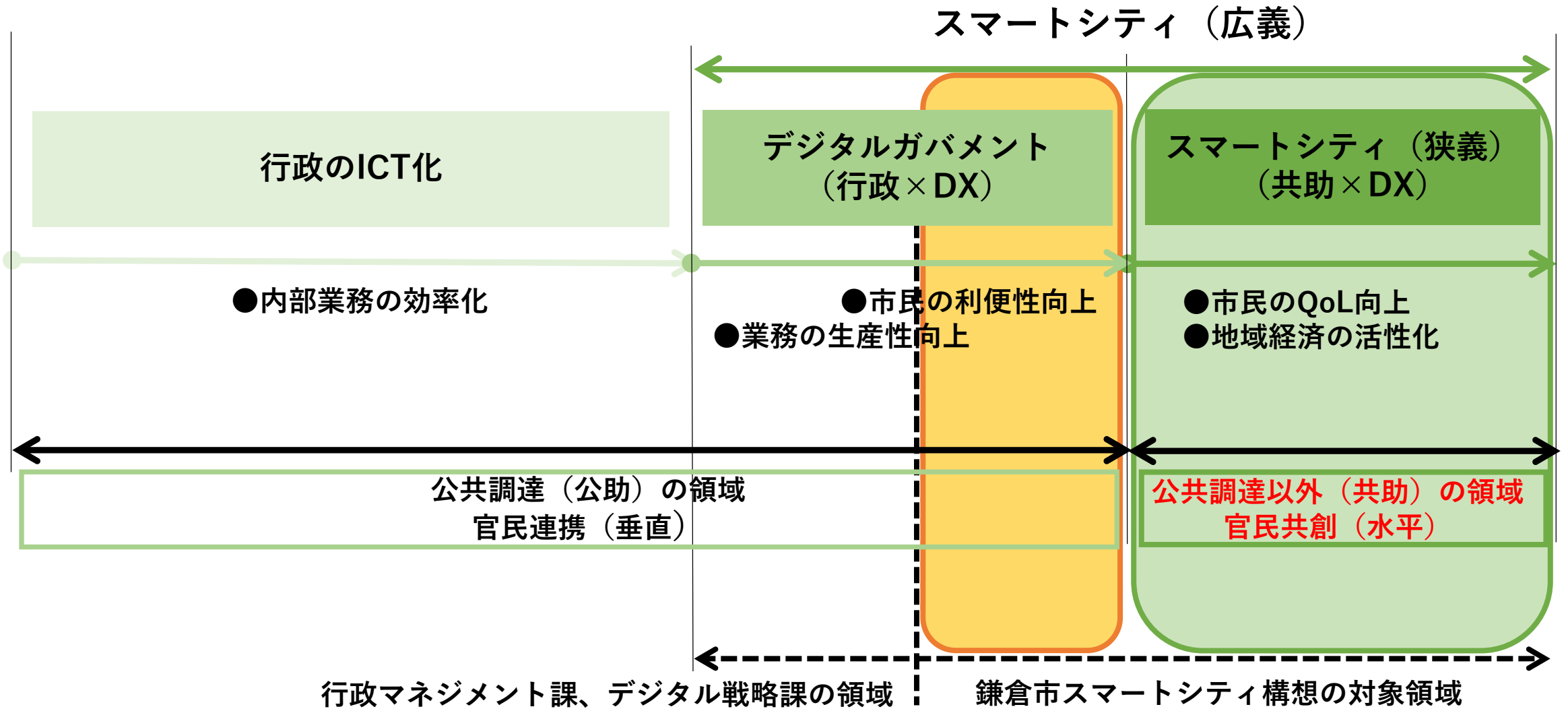
基本的な制度設計は、R3補正のデジタル田園都市国家構想推進交付金の内容を継続します
 マイナンバーカードの普及促進、スタートアップの活用、地域間連携など、重点施策を推進する観点から、新たな優遇措置等を講じる予定

※以下のほか、デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定における議論を踏まえ、更なる措置を検討



※申請上限数：都道府県 9事業 市町村 5事業まで

※赤枠線内が新規追加要素



～ICT化とDXは違う。DXはデジタルの導入に合わせて組織や役割、まちのリデザインが必要～

